



第53期 上半期を終えて

第53期も6月を迎え、上半期が終了となり、早いもので今期も半分が経過する事となりました。

今年も昨年同様に新型コロナの影響が1月から続き、2回目の緊急事態宣言や蔓延防止措置、3回目の緊急事態宣言となり、現在も宣言中となっております。なかなか感染拡大が収まらないものの、先日ワクチン接種が開始されましたので、今後の感染抑制が期待出来るのではと感じております。ただ、やはり一人一人の『感染しない、感染させない』との自覚がとても重要だと思いますので、引き続きの感染予防に努めて行きたいと感じております。私自身もそうですが、社員の皆様にも引き続き感染予防の周知をよろしくお願い致します。

上半期を終えましたが、やはりこの新型コロナは、計画遂行に影響を及ぼしていると感じております。一部の生産について見通しが立たないままとなっており、上期の結果に影響を及ぼしてしまいました。この生産は下期の計画に集中しておりましたので、今後の下期につきましては新たな仕事を模索しながら計画遂行を目指していく事になると思います。ただ各部門長が連携し仕事の確保を進めて頂いている事で、現在その成果が着実に出てきていると感じております。計画遂行を目指すことは重要な事ですが、それにはまず社員の仕事確保が前提となってまいりますので、引き続き各部門長を初め社員の皆様には、ご協力の方をお願いできればと思います。

それでは6月1ヶ月間、体調にはくれぐれも気を付けて、今月もよろしくお願い致します。

社長 太田 聡

編集担当：島

ポカミスについて（その4）

先月は「いつポカミスがおこるのか」について勉強しました。今回はそれぞれについてもう少し詳しく見ていきましょう。5月号の社報イラスト画像を見ながら読んで頂ければと思います。

①情報未伝達

⇒（そもそも）作業情報が正しく提供・伝達されなかった。

<直接原因の具体例>

- ・ 情報そのものが間違っていた。
- ・ 情報が与えられなかった、伝えられなかった。
- ・ 内容が不明確あるいは間違えられやすい。
- ・ 表示の場所、伝達方法が不適切。
- ・ 環境からの妨害（暗やみ、騒音など）があった。

②認知のミス

認知ミスの分類	直接原因の具体例
1) 五感入力なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別なことを見ていた、聞いていた、考えていた ・ 感覚器が遮断（耳栓）／感覚器の機能低下（疲労、居眠り）
2) 感覚を誤った (長さ、形、文字の読違い等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 錯覚（照度不足、静止灯の動き） ・ 計器の目盛、文字の表示が間違えやすい ・ 形や色が似ていた、配列が間違えやすい
3) 認知の誤り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な情報だと知らなかった（知識と経験不足） ・ 記憶違い、名称を間違えて覚えていた
4) 認知しなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認するまでもなく確かだと思っていた（思い込み） ・ 誰かがすでに確認したと思い込んでいた

次号では、判断・決定と行動のミスについて紹介します。

品質保証部

PPAP問題について(後編)

5月号では、前編としてPPAPの内容とその問題点を紹介しました。今回は後編として、PPAPの代替策を紹介します。

1. クラウドストレージを利用する

直接メールでファイルをやり取りするのではなく、送受信したいデータをGoogle DriveやOneDriveなどのクラウドストレージに保存し、受信者とセキュアなリンクやコラボレーションで共有する方法です。クラウドストレージであればフォルダへのアクセスをコントロールできるため、セキュリティ対策が十分となります。共有する人の範囲も選ぶことができます。仮に受信者を間違えて指定してしまったら、気づいた時点でファイルの共有を無効にすれば、それが運良くファイルダウンロード前なら情報の漏洩も防ぐことが出来るでしょう。

2. ビジネスチャットやSNSを利用する

SlackやTeamsといったビジネスチャットツールが広く使われるようになってきました。これらのビジネスチャットツール全てではありませんが、チャット上でファイルの送受信機能を搭載しているツールもあります。その機能を利用すれば、送受信者がお互いに相手を確認しながらファイルを送受信できます。そのため、見ず知らずの人に誤送信することはありません。ただし、ファイルを送信するチャットルームの選択ミスには注意する必要があります。

3. S/MIMEを利用する

S/MIME (Secure / Multipurpose Internet Mail Extensions) とは、電子メールのセキュリティを向上する暗号化方式のひとつで、電子証明書を用いてメールの暗号化とメールへ電子署名を行うことができます。メールの送信者・受信者双方がS/MIMEを使ってメールを送受信すれば、添付ファイルを含むメール全体が暗号化されるため、盗聴を防げます。万が一メールに改ざんがあった場合は、警告表示で分かる仕組みです。

ただし、S/MIMEはメールの送信者・受信者双方が対応しなければならないため、自社だけ対応すればよいわけではない点がネックです。

編集担当：島

世界のHONDAを築き上げた男 ～本田 宗一郎～

今月号からは一世代で本田技研工業(通称：ホンダ)を築き上げた本田 宗一郎の『生き方』、『考え方』について学びます。まず、主な経歴を紹介したいと思います。

1906年11月17日、静岡県磐田郡光明村(現、天竜市)に生まれる。父は腕の良い鍛冶職人であり、母は機織りの名手だった為か生まれつきの手の器用さ、そして機械への好奇心の強さは人一倍強かった。15歳の時、自動車修理工場に丁稚奉公(弟子入り)に出る。22歳、自動車修理工場を創業。それを成功させ、次にはエンジンの重要部品ピストンリングのメーカーを創業する。修理サービスから、自動車生産への第一歩としての部品生産である。

1948年本田技研工業株式会社を設立。同社代表取締役就任。オートバイ生産に乗り出す。部品生産から、乗り物本体の生産を始める。42歳での第3の創業であった。

経歴を全て紹介しようと思いましたが、あまりにも多

すぎるため、経歴はここまでとして、エピソードをお伝えしたいと思います。人物像としてはとにかく妥協を許さない、怠けた社員に対しては口より先に手を出してしまうこともあったといえます。しかし一方で、経営者の身でありながら従業員と同じ食堂で昼飯を食べ、一緒に将棋を指すなど、飾り気のない性格から「オヤジさん」と呼ばれ、親しまれていました。1973年の社長退任時、「がんばってくれた従業員一人ひとりにお礼を言いたい」と、1年半を費やし全国津々浦々の工場・販売店への御礼行脚を行う。従業員たちと握手し、「ありがとう、ご苦労さん」と声をかけ、従業員たちと記念写真を撮ると、「これからも第一線でがんばってくれよ」と激励の言葉をかけて去っていったそうです。

こういう人柄から、現在も多くの人を魅了しています。

編集担当：横井

編集担当より

梅雨時期の6月、雨が多くなると憂鬱な気分になる方もいるかと思えます。しかし、視点を変えると水源の確保などいろいろなメリットがあるようです。

湿気の多いこの時期は、埃が舞い散らず、年末よりも大掃除に適しているそうです。お家をきれいにし、前向きな気持ちで過ごしましょう。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004

静岡県磐田市勾坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地

TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898

URL:http://www.apollo-elec.co.jp

編集担当：管理室

発行日 令和3年6月1日